

**リミニストリート、2023年度第四半期決算を発表**

## 業績ハイライト：

第3四半期収益：1億750万ドル（前年度同期比5.4%増）

売上総利益率：62.7%（前年度同期61.5%）

純利益：1,210万ドル（前年度同期830万ドル）

（米国ラスベガス - 2023年8月2日） - エンタープライズソフトウェアのサポート、製品、サービスをエンドツーエンドで提供するグローバル企業であり、Oracle および SAP ソフトウェアに対する第三者保守サービスの主要なプロバイダー、ならびに、Salesforce および AWS のパートナーである [Rimini Street, Inc.](#) (Nasdaq: RMNI)は、本日、第3四半期（2023年9月30日終了）の決算を発表しました。

リミニストリー社の共同設立者、最高経営責任者（CEO）兼取締役会長である [Seth A. Ravin](#) は「2023年第3四半期は、当社のエンドツーエンドのERPアウトソーシング・ソリューションである Rimini ONE™と SAP 製品向けソリューションが世界的に支持を得ました。これは、現在のマクロ経済環境に後押しされたものであり、当社の拡張されたフルサービス・ポートフォリオが見込み客や顧客からますます高く評価されるようになったこと、そして市場開拓の実行力がさらに成熟してきたことも一因となっていると考えています。」とコメントしました。

**【2023年第3四半期財務ハイライト】**

- ・2023年第3四半期の売上高は、前年同期の1億190万ドルから5.4%増の1億750万ドル。
- ・米国内の収益は、前年同期の5,340万ドルから4.3%増の5,570万ドル。
- ・米国外の収益は、前年度同期の前年同期の4,850万ドルに比べ6.6%増の5,170万ドル。
- ・2023年度第3四半期の年換算経常収益は、前年同期の3億9,980万ドルから4.1%増の4億1,630万ドル。
- ・2023年9月30日終了までの12ヶ月間の収益維持率は、94%（2022年9月30日に終了した同期間の維持率94%）。
- ・2023年第3四半期のサブスクリプション収益は、総収入の96.9%を占める1億410万ドル（前年同期のサブスクリプション収入は、総収入の98.1%を占める9,990万ドル）。
- ・2023年度第3四半期の請求額は、前年同期の4,970万ドルから21.7%増の6,050万ドル。
- ・2023年度第3四半期の売上総利益率は、前年同期の61.5%に対し、62.7%。
- ・2023年度第3四半期の営業利益は、前年同期の200万ドルに対し、1,120万ドル。
- ・2023年度第3四半期の非GAAPベースの営業利益は、前年同期の1,070万ドルに対し、1,650万ドル。
- ・2023年度第3四半期の純利益は、前年同期の純損失0.4百万ドルに対し、6.8百万ドル。
- ・2023年度第3四半期の非GAAPベースの純利益は、前年同期の830万ドルに対し、1,210万ドル。
- ・2023年度第3四半期の調整後EBITDAは、前年同期の1,000万ドルに対し、1,820万ドル。
- ・2023年度第3四半期の基本的小および希薄化後の普通株主に帰属する1株当たり当期純利益は0.08ドルで、前年同期の基本的小および希薄化後の1株当たり当期純損失は0.00ドル。
- ・2023年9月30日現在の現金・短期投資は、前年度同期の1億2,970万ドルに対し、1億2,810万ドル。

本プレスリリースに記載された非 GAAP ベースの財務指標を、最も直接的に対応する GAAP ベースの財務指標に基づき調整した上記数値詳細は、本プレスリリース末尾の財務諸表に掲載しています。これらの指標の意義に関する当社の見解と計算方法については、英文リリースの「About Non-GAAP Financial Measures and Certain Key Metrics (非 GAAP ベースの財務指標と特定の重要指標について)」をご参照ください。

### 【2023 年第 3 四半期営業ハイライト】

- ・ 韓国の先駆的な医療機関であり、主要な研究センター病院である [嘉泉大学ギル・メディカル・センター](#)が、Oracle Database のソフトウェアメンテナンスに [Rimini Support™](#)を採用し、これにより毎年 150 万人の患者と数千人の医療スタッフ、学生、従業員のニーズに応えるミッションクリティカルな IT 運用の安定と改善の両方が実現。
- ・ SAP ECC および S/4HANA を含む 15 種類の SAP 製品について、15 年のサポートとマネージドサービスの保証を明言するとともに、[Rimini Support™](#)を [SAP Industry Solutions](#) にもサービスを拡大することを発表。
- ・ [SAP クラウド製品向けの Rimini Manage™ サービスの提供開始と拡大](#)を発表。SAP クラウドのライセンスが生産性の向上、予測可能性の向上、ビジネス価値の増大といったメリットを享受できるよう、追加のアプリケーションマネージドサービスを提供。
- ・ [Censuswide 社によるバイヤー心理調査「組織は IT ロードマップの管理強化を望んでいる」の調査結果](#)を発表。米国を拠点とする 600 人以上の CIO および CTO が、ROI の不足とベンダーロックインへの懸念から、ベンダーのサブスクリプションベースのライセンスモデルに深い懸念を抱いていることが明らかになった。
- ・ 8,400 件以上のサポート・ケースを解決、20 カ国のクライアントに 4,000 件以上の税務、法務、規制に関するアップデートを提供。また、当社のサポート・デリバリーおよびオンボーディング・サービスに対するクライアントの平均満足度は、5.0 点満点中 4.9 点以上 (5.0 点はエクセレント)。
- ・ インドとオーストラリアで [「Great Place to Work®」に認定、英国の中堅企業部門で「Best Workplace for Women™」](#)を受賞。
- ・ リミニストリートが参加、発表、ディスカッション・グループのリーダーを務め、オランダ、バルセロナ、東京で開催される Gartner IT Symposium 秋季カンファレンスのスケジュールを発表。
- ・ リミニストリート財団が、世界中のさまざまな慈善団体に行った寄付が 500 件に達した。

### 【2023 年事業見通し】

リミニストリートは、オラクル社との間で現在進行中の訴訟について、米国連邦裁判所で行われている訴訟活動の影響がより明確になるまで保留します。

### 【ウェブキャストおよびカンファレンスコールによる当社情報の継続的公開】

リミニストリートは、2023 年 11 月 1 日午後 5 時 (米国東部時間) / 午後 2 時 (米国太平洋時間) に、2023 年第 3 四半期の業績および 2023 年第 4 四半期の業績についての電話会議およびウェブキャストを開催します。このイベントのライブ・ウェブキャストは、リミニストリートの投資家向け情報サイトの [リミニストリート IR イベント・リンク](#) から、また [ウェブキャスト・リンク](#) から直接ご覧いただけます。ダイアルインの参加者は、ダイアルイン登録リンクから登録することで会議にアクセスできます。ウェブキャストの再生は、イベント後 1 年間利用可能です。

### 【非 GAAP ベースの財務指標の使用について】

本プレスリリースには特定の「非 GAAP 財務指標」が含まれています。非 GAAP ベースの財務指標は、包括的な一連の会計規則や原則に基づくものではありません。この非 GAAP 情報は、米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）で要求される開示に従った業績指標を補足するものであり、それを意図するものではありません。非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して決定された財務指標に加えて考慮されるべきであり、GAAP に準拠して決定された財務指標を代替または優越するものではありません。GAAP ベースの業績と非 GAAP ベースの業績の調整表は、本プレスリリース内の財務表に含まれています。非 GAAP 財務指標および特定の主要指標について」の見出しの下に、当社の非 GAAP 財務指標の説明と解説が記載されています。

## リミニストリート

### 未監査要約連結貸借対照表

(単位：千、1 株当たり金額を除く)

資産	2023 年 9 月 30 日	2022 年 12 月 31 日
流動資産：		
現金および現金同等物	\$ 108,233	\$ 109,008
使途制限付現金	427	426
売掛金（それぞれ 737 ドルおよび 723 ドルの引当金控除後）	61,191	116,093
繰延契約費、流動	17,641	17,218
短期投資	19,914	20,115
前払費用およびその他	24,678	18,846
流動資産合計	232,084	281,706
<b>負債、償還可能優先株式および株主赤字</b>		
流動負債：		
1 年以内に期限の到来する長期借入債務	\$5,912	\$4,789
未払金	6,139	8,040
未払報酬、手当および手数料	35,782	37,459
その他の未払金	22,718	32,676
オペレーティング・リース負債、流動	4,175	4,223
繰延収益（流動）	214,073	265,840
流動負債合計	288,799	353,027
<b>固定負債</b>		
長期借入債務（1 年以内期限到来分控除後）	65,671	70,003
繰延収益、固定	24,326	34,081
オペレーティング・リース負債、固定	7,511	9,094
その他の固定負債	1,718	2,006

負債合計	388,025	468,211
<b>株主の赤字：</b>		
優先株式、額面 0.0001 米ドル。発行可能株式総数 99,820 株（シリーズ A 優先株 180 株を除く）。	—	—
普通株式、額面 0.0001 米ドル。発行可能株式総数 1,000,000 株、発行済株式総数 89,085 株および 88,517 株。	9	9
資本剰余金	164,522	156,401
その他の包括損失累計額	(4,904)	(4,195)
累積赤字	(211,561)	(228,269)
自己株式（取得原価）	(1,116)	(1,116)
株主資本合計	(53,050)	(77,170)
負債および株主資本合計	\$ 334,975	\$391,041

## リミニストリート

### 未監査要約連結損益計算書

（単位：千、1 株当たり金額を除く）

	四半期		3 四半期	
	9 月 30 日		9 月 30 日	
	2023	2022	2023	2022
収益	\$107,453	\$101,931	\$319,386	\$301,041
売上原価	40,110	39,271	118,802	113,822
売上総利益	67,343	62,660	200,584	187,219
<b>営業費用</b>				
販売およびマーケティング	35,593	35,934	107,356	103,840
一般管理費	18,384	18,454	55,475	57,267
組織再編費用	—	—	59	—
訴訟費用および関連回収金				
専門家報酬およびその他の訴訟費用	2,127	6,145	5,475	12,837

保険費用および回収金 (純額)	—	92	—	(389)
訴訟費用および関連回収額 (純額)	2,127	6,237	5,475	12,448
営業費用合計	56,104	60,625	168,365	173,555
営業利益	11,239	2,035	32,219	13,664
<b>営業外収益および(費用) :</b>				
支払利息	(1,413)	(1,167)	(4,139)	(2,974)
その他の収益(費用) - 純額	990	(1,329)	1,799	(2,696)
税引前利益	10,816	(461)	29,879	7,994
法人所得税	(4,015)	56	(13,171)	(5,202)
当期純利益	\$6,801	(\$405)	\$16,708	\$2,792
普通株主に帰属する当期純利益	\$6,801	(\$405)	\$16,708	\$2,792
普通株主に帰属する1株当たり当期純利益				
基本的	\$0.08	\$—	\$0.19	\$0.03
希薄化後	\$0.08	\$—	\$0.19	\$0.03
普通株式の加重平均発行済株式数 :				
基本的	89,228	87,965	88,942	87,441
希薄化後	89,357	87,965	89,322	89,054
<b>リミニストリート</b>				

GAAP から 非 GAAP へ の調整				
(単位：千、 1 株当たり 金額を除 く)				
	四半期		3 四半期	
	9 月 30 日		9 月 30 日	
	2023	2022	2023	2022
非 GAAP ベ ースの営業 利益調整 表：				
営業利益	\$11,239	\$2,035	\$32,219	\$13,664
非 GAAP ベ ースの調整				
訴訟費用お よび関連回 収額（純 額）	2,127	6,237	5,475	12,448
株式報酬費 用	3,131	2,443	9,056	8,653
組織再編費 用	—	—	59	—
非 GAAP ベ ースの営業 利益	\$16,497	\$10,715	\$46,809	\$34,765
非 GAAP ベ ースの純利 益調整				
当期純利益	\$6,801	(\$405)	\$ 16,708	\$ 2,792
非 GAAP ベ ースの調整				
訴訟費用お よび関連回 収額（純 額）	2,127	6,237	5,475	12,448
株式報酬費 用	3,131	2,443	9,056	8,653

組織再編費用	—	—	59	—
非 GAAP ベースの純利益	\$12,059	\$8,275	\$31,298	\$23,893
<b>非 GAAP 調整後 EBITDA 調整額：</b>				
当期純利益	\$6,801	(\$405)	\$16,708	\$2,792
非 GAAP ベースの調整				
支払利息	1,413	1,167	4,139	2,974
法人所得税	4,015	(56)	13,171	5,202
減価償却費および償却費	752	649	2,001	1,871
EBITDA	12,981	1,355	36,019	12,839
非 GAAP ベースの調整				
訴訟費用および関連回収額（純額）	2,127	6,237	5,475	12,448
株式報酬費用	3,131	2,443	9,056	8,653
組織再編費用	—	—	59	—
調整後 EBITDA	\$18,239	\$10,035	\$50,609	\$33,940
<b>売上高</b>				
収益	\$107,453	\$101,931	\$319,386	\$301,041
繰延収益、流動および固定（期末現在）	238,399	248,187	238,399	248,187
期首時点の繰延収益（流動および固定）	285,324	300,387	299,921	300,268

繰延収益の 変動	(46,925)	(52,200)	(61,522)	(52,081)
売上高	\$60,528	\$49,731	\$257,864	\$248,960

## 非 GAAP 財務指標および特定の主要指標について

リミニストリートの業績に関する追加情報を投資家等に提供するため、当社は以下の非 GAAP 財務指標および特定の主要指標を開示しています。年換算経常収益および収益維持率は、それぞれ当社事業の主要な経営指標であり、以下に記載しています。さらに、当社は以下の非 GAAP 財務指標を開示しています：非 GAAP 営業利益、非 GAAP 純利益、EBITDA、調整後 EBITDA および請求額。リミニストリートは、本決算発表で使用した各非 GAAP 財務指標と最も直接的に比較可能な GAAP 財務指標との調整表を上記の表に記載しています。当社の繰延税金資産に対する評価引当金により、非 GAAP ベースの調整には税効果はありません。これらの非 GAAP 財務指標についても以下に説明いたします。

非 GAAP ベースの財務指標を使用する主な目的は、投資家にとって有用であると経営陣が考える補足情報を提供し、投資家が経営陣と同じ方法で当社の業績を評価できるようにすることです。また、非 GAAP 財務指標は、当社の中核的な業績を示すものではないと考えられる項目を除外することにより、投資家が当社の業績を一貫した基準で報告期間にわたって比較したり、他社の業績と比較したりする際に役立つと考えるため、当社は非 GAAP 財務指標を表示しています。具体的には、経営陣はこれらの Non-GAAP 指標を営業成績の指標として使用し、年次営業予算の作成に使用し、事業の財務業績を向上させるための資源配分に使用し、事業戦略の有効性を評価し、過去の財務業績との一貫性と比較可能性を提供し、GAAP 業績を補足するために類似の Non-GAAP 財務指標を使用している他社業績との比較を容易にし、当社の取締役会との財務業績に関するコミュニケーションに使用しています。ただし、すべての企業がこれらの非 GAAP 指標を一貫して定義しているわけではないことにご留意ください。

**請求額**は、当期の繰延収益の増減に当期の収益を加えたものである。

**年換算経常収益**は、1 会計四半期中に認識されたサブスクリプション収益の額に 4 を乗じたものである。これにより、その期間中に解約や価格変更がないと仮定した場合に、既存顧客ベースから翌 12 ヶ月間に得られる収益を示すことができる。サブスクリプション収入は、経常外収入を除く。

**売上高維持率**とは、12 ヶ月間の開始日の前日に顧客であった顧客から 12 ヶ月間に認識された実際のサブスクリプション売上高（ドルベース）を、12 ヶ月間の開始日の前日における当社の年換算経常収益で除したものである。

**非 GAAP ベースの営業利益**は、訴訟費用および関連する回収金（純額）、株式報酬費用、組織再編費用を除外するために調整された営業利益である。この除外項目の詳細については後述する。

非 GAAP ベースの当期純利益は、訴訟費用および関連回復費用（純額）、株式報酬費用、組織再編費用を除外するために調整した当期純利益である。これらの除外項目の詳細については後述する。

具体的には、経営陣は以下の項目を非 GAAP ベースの財務指標から除外している：

訴訟費用および関連回収額、純額： 訴訟費用および関連する保険金および上訴による回収金は、訴訟活動の外部費用に関するものである。これらの費用および回収金は、当グループが関与している継続的な訴訟を反映したものであり、日常業務や顧客にサービスを提供する中核事業には関係しない。

株式報酬費用： 当社の報酬戦略には、従業員を惹きつけ、維持するための株式報酬の利用が含まれる。この戦略は主に、特定の期間の業績に対する動機付けや報酬というよりも、従業員の利益と株主の利益を一致させ、長期的な従業員の維持を達成することを目的としている。その結果、株式報酬費用は、一般的に特定の期間における経営上の意思決定や業績とは無関係な理由で変動する。

組織再編費用： 主に組織再編計画に伴う退職関連費用である。

**EBITDA** は、支払利息、法人税、減価償却費を除いた純利益を調整したものである。

**調整後 EBITDA** は、前述のとおり、訴訟費用および関連回復費用（純額）、株式報酬費用、組織再編費用を除外するために調整した EBITDA である。

## リミニストリートについて

ラッセル 2000® カンパニーであるリミニストリート (Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)) は、エンドツーエンドのエンタープライズソフトウェアサポート、製品、サービスのグローバルプロバイダーであり、Oracle および SAP ソフトウェアに対する第三者保守サービスの業界リーダー、そして、Salesforce および AWS のパートナーでもあります。エンタープライズアプリケーション、データベース、テクノロジーソフトウェアの実行、管理、サポート、カスタマイズ、設定、接続、保護、監視、最適化を行う包括的な統合ソリューションファミリーを世界各地で提供しています。お客様がより良いビジネス成果を達成し、コストを大幅に削減することによりイノベーションのためにリソースを再配分できるよう支援します。現在までに、Fortune 500、Fortune Global 100、中堅企業、公共機関など、幅広い業種の 5,300 以上の組織が、リミニストリートを信頼できるエンタープライズソフトウェアソリューションプロバイダーとして採用しています。詳細は、<https://www.riministreet.com>、をご覧ください。また Twitter、Facebook、LinkedIn でのフォローもお待ちしております。 (IR-RMNI)

## 将来予測に関する記述

本書に含まれる一部の記述は、歴史的事実ではなく、1995 年私募証券訴訟改革法のセーフハーバー規定における将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は一般に、「かもしれない」、「はずである」、「だろう」、「計画する」、「意図する」、「予測する」、「信じる」、「推定する」、「~する」、「可能性」、「思われる」、「求める」、「続ける」、「将来」、「予定する」、「期待する」、「見通し」などの単語やフレーズ又は表現が使用されています。これらの将来予想に関する記述は、将来の出来事、将来の機会、世界的な拡大及びその他の成長構想に関する取り組み、並びにかかる構想に対する当社の投資に関する当社の期待に関する記述を含みますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定及び経営陣の現在の予想に基づくものであり、実際の業績を予測するものではなく、また、歴史的事実を記述するものでもありません。これらの記述は、リミニストリーの事業に関する多くのリスク及び不確実性の影響を受け、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスク及び不確実性には、次のものが含まれますが、これらに限定されませ

ん：係争中の訴訟または新たな訴訟の弁護における不利な展開および関連するコスト。外貨為替の変動、不況の経済傾向の影響などを含むリミニストリートの実業環境の変化、リミニストリートが事業を行う業界及びリミニストリートの顧客が事業を行う業界に影響を与える一般的な金融、経済、規制、政治的な状況など。エンタープライズソフトウェア管理及びサポートを取り巻く環境の進化並びに新顧客を惹きつけて既存顧客を維持し顧客層を更に広げる当社の能力。ソフトウェアサポートサービス市場における競争の激化。当社の拡大された製品及びサービスのポートフォリオ並びに今後提供する可能性のある製品及びサービスの顧客による採用。現状の収益又は収益性を維持し又はこれらを伸ばす当社の能力、及び、コスト管理能力。当社が獲得可能な最大市場規模の予測、及び当社サービスの採用により他社サービス利用時と比して顧客に見込まれるコスト削減効果の予測。当社におけるセールスサイクルの変動。定着率に関連するリスク。リミニストリートの経営陣の1人または複数のメンバーの終任。有能な人材およびキーパーソンを惹きつけ保持する能力。利益を伴う成長管理への挑戦。有利な条件で追加の株式または債券による資金調達を行う必要性および能力、ならびに当社の成長構想への投資の増加に資するために事業からキャッシュフローを生み出す能力。ESG（環境、社会、企業統治）関連事項の当社に対する影響。COVID-19 パンデミックに関する残課題に対する措置及びそれらが当社の事業に与える経済上、運営上、及び財務上の影響。グローバル運営に付随するリスク。当社の情報技術システムに対する不正アクセスおよびその他のサイバーセキュリティ上の脅威を防ぎ、当社の従業員および顧客の機密情報を保護し、プライバシーおよびデータ保護規制を順守する当社の能力。財務報告に対する内部統制システムの効率性を維持する当社の能力。当社のブランド及び知的財産を維持及び保護し促進していく当社の能力。税法を含む法令の改正及び当社の取る税務ポジションが結果的に生み出す可能性のある当社に不利益な事象並びに税金引当金の不足。当社のクレジットファイリリティにおける継続的な債務返済義務および当社の事業に対する財務・業務上の特約並びに担保付翌日物調達金利（SOFR）又は他の金利ベンチマークへの移行に伴う不確実性を含む金利リスク。当社の流動性要件を満たすための現金および現金同等物の充足度。当社の株式買戻プログラムに基づく買戻の量および時期（もしあれば）ならびにかかるプログラムを通じて株主価値を高める当社の能力。リミニストリートの株式の長期的な価値に対する不確実性。当社または当社の顧客の事業を混乱させる壊滅的な出来事。並びに、2023年11月1日付で米国証券取引委員会に提出されたりミニストリート Form 10-Q 四半期報告書に「リスク要因」の見出しのもとで記載され、今後提出される Form 10-K 年次報告書、Form 10-Q 四半期報告書、Form 8-K 臨時報告書、及びリミニストリートが米国証券取引委員会へ提出するその他の提出物によって随時更新される記述に含まれる事項を含むその他のリスク。また、将来予想に関する記述は、本書の日付時点における将来の事象及び見解に関するリミニストリートの期待、計画又は予測を提供するものです。リミニストリートは、その後の事象及び展開により、リミニストリートの評価が変化することを予想しています。しかしながら、リミニストリートは、将来のある時点で、これらの将来予想に関する記述を更新する可能性があります。リミニストリートは、法令により要求される場合を除き、そのような義務を負うことを特に否認します。これらの将来予想に関する記述は、本書の日付以降のいかなる日付においても、リミニストリートの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

©2023 Rimini Street, Inc. 無断転載を禁じます。“Rimini Street”は、米国及びその他の国における Rimini Street, Inc.の登録商標であり、Rimini Street、Rimini Street ロゴ、及びそれらの組み合わせ、並びに TM で示されるその他のマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの権利者に帰属し、別段の表示がない限り、リミニストリートは、かかる商標の権利者又は本書に記載されているその他の企業と提携若しくは関連し、又はこれらを推奨することを示すものではありません。